

エステル¹は、ペルシャの
おうさま
王様アハシュエロス
(クセルクセス)の
あたらし じょう
新しい女王になるために
えら けう き
選ばれた、勇気ある
わか じんじょせい
若いユダヤ人女性です。



1 エステル記は、旧約聖書の
なか おき
中に収められています。
こどもむ せいしよ
子供向けの聖書でも、この
はなし よ
お話を読んでみましょう。



エステルは、女王としての新しい務めを
は じん いえ で
果たすため、ユダヤ人の家を出ますが、
ユダヤ人であることをやめた訳では
ありません。彼女を育てたおじの
かのじょ そだ
モルデカイも、王宮で仕えており、
おうきゆう つか
エステルと連絡を取り合い続けました。
れんらく と あ つづ



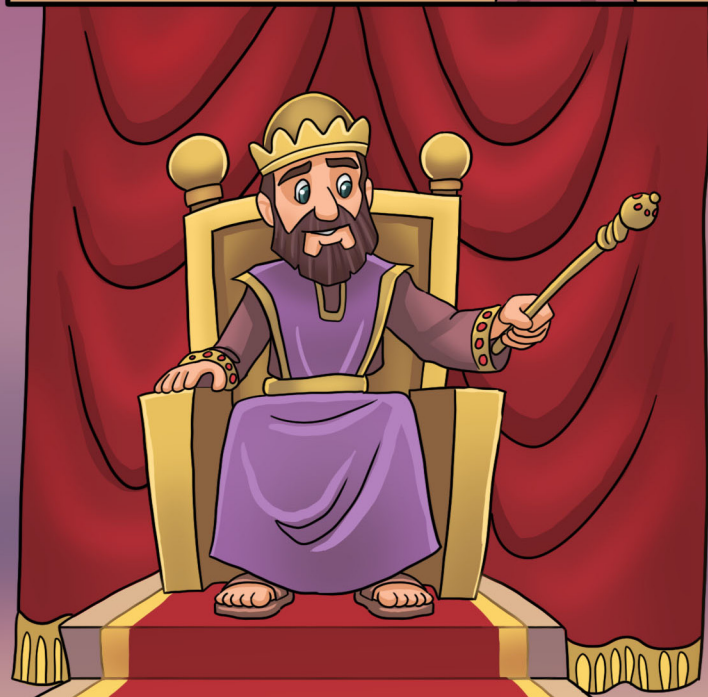
エステルが女王になってから、
ユダヤ人をきらう政府の高官の一人が
おうさま せっとく くにじゅう じん
王様を説得して、国中のユダヤ人を
ころ めいれい くだ
殺すようにとの命令を下させていただきます。
おうさま こうかん
王様も、この高官も、エステルが
ユダヤ人であることは知りませんでした。
エステルは、どうしたらいいのでしょうか？
じぶん じん じん あ
自分がユダヤ人であることを明かし、
ころ うんめい お
殺される運命を負うべきでしょうか？
それとも、自分の民がひどい攻撃を
う じぶん たみ こうげき
受けても、だまって静かに生きるべき
なののでしょうか？

きゅうやくせいしよ どうじょう
旧約聖書に登場する
しんこう ひと
信仰の人：

エステル



モルデカイは エステルに、自分が ユダヤ人である ことを 王様に 話す
 ようにと はげめます。ただ、そこには 非常に 大きな 障害が ありました。
 だれも、女王でさえも、王様自身から 呼ばれない限りは、王様の 前に
 出ては いけない ことになっ ていたから です。それには、
 死の 危険が 伴って いました。けれども、エステルが 自分の 民を
 助け てもらいたい と 願うなら、たとえ 王様に 呼ばれなくても、
 王様に 頼むしか ありませんでした。



エステルは、町中の ユダヤ人に、3日間、
 断食をして 祈ってくれる ようにと 頼みました。
 その後、王様に 会いに 行く つもりでした。



3日間が 過ぎると、エステルは 勇気を持って、
 王様に 会いに 行きます。王様は、エステルに
 会うと 喜んで、王の つえを 差し伸べて くれました。
 つまり、王様に 話しても よいという 許しが 出たの
 です。エステルは 特別な 夕食を 用意して 王様を
 招き、食事を しながら、彼女の 民が 苦境に 立た
 されていることを 説明しました。そして、王様の
 助けによって、彼女の 民を 救うための 解決策を
 見つけることが できたのです。

元気を 出しましょう。勇気を
 奮い起こす 必要が あるなら、
 イエス様が その時に 勇気を
 与えて くださる のですから。